



松島海岸診療所 支援隊からのレポート

～様々な声・要望…聴いてもらえるだけで勇気に～

4/6 12:30 に拠点となる浜通り診療所に到着。14:00～17:00 まで組合員・非組合員に関わらず地域訪問を行いました。地域によって、災害状況や必要としている支援の中身も異なっていました。

「瓦礫や、屋内の油や塩分を含んだヘドロの撤去といった、マンパワーが必要」「震災からの先行きの見えないストレス・メンタル面の問題が心配」「自営業の方は、金利優遇策だけでなく、金銭的支援もしてくれないと経済が崩壊する」「農業の方は、農作物の買取保障だけでなく、農機具の被害状況の把握もして欲しい」など様々な声と訴えがありました。

地域訪問での聞き取りによる現状把握から分析をし、今後の長期的な対策を考えていくプロセスの重要性を体験しました。

被災者の皆さんは、気丈に明るく振る舞われ「私は良いからもっと困っている人に」と言われるのが、印象的でした。

ただ、よくよく話を聞くと、不安や悩みを打ち明けてくれ、「こうやって話を聞いてもらえることが、とても勇気ができます。」とも仰っていました。

4/6 日本プライマリケア学会へ 高石院長、榎庭副院長よりパルスオキシメーター5台贈呈!



日本プライマリケア連合学会は学会員に呼びかけて、医療支援のためのプロジェクトを立ち上げて取り組んでいます。一昨年私たちの事業所で勤務をされていた角泰人先生が、3月からこのプロジェクト事務局に日中詰めていらっしゃる事がわかり、増田先生が訪問し懇談したところ、プロジェクトリーダーの方から「現在、パルスオキシメーターが入手できないで困っています」とお聞きしました。増田先生から、この学会に法人として購入をして贈呈してはどうかとの相談があり、5台を購入し提供することになりました。この学会には、山田会長、増田副会長をはじめ複数の医師が加入し、埼玉協同病院、大井協同診療所などが研修施設の認定を受けています。現在も研修プログラム登録をしており、協力をさせていただきました。

義援金は引き続きご協力を!

4/7 22:54～日本テレビ「ニュースZERO」で松島医療生協の取り組みが放映されます!